

2013年11月6日

塩ビ事業会社を買収してベトナム市場に初進出 ～東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業展開を加速～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、ベトナムの塩ビ事業会社フーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社（PMP C社）の持分78%を取得することについて、同社親会社であるペトロナス・ケミカルズ・グループ社と合意しました。

PMP C社は、成長するベトナムの塩ビ樹脂（PVC）市場で3割を超えるシェアを有しており、この買収により当社グループはベトナムでの事業展開を本格的に始動することになります。また、本件により、当社グループのPVCグローバル生産能力は、先に発表したインドネシアにおける増強と合わせて現行の倍増以上の65万トン／年となります。

ベトナムは約9千万人の人口の過半数が30歳未満という成長余力の大きい市場であり、年率5%以上の安定した経済成長が見込まれます。同国の塩ビ市場は、東南アジアでインドネシア、タイに次ぐ規模であり、経済発展に伴う需要拡大により、2020年には現在の5割増の規模となる見込みです。今後、重化学工業などの立ち上がりとともに、苛性ソーダや塩酸など塩ビ以外のクロール・アルカリ製品の需要伸長も期待されます。

当社グループは、現在、インドネシアとタイに生産拠点をもち、苛性ソーダ・塩素から塩ビまでを一貫生産する東南アジア地域最大級のクロール・アルカリメーカーです。また、同地域の旺盛な需要に応えるため、インドネシアでは2015年末までに苛性ソーダおよび塩ビの生産能力を大幅に増強することを決定しています。このインドネシアの投資に続き、成長余力の大きいベトナム市場に新たに拠点を持つことで、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業のさらなる拡大を目指します。

AGCグループは、中期経営計画“*Grow Beyond-2015*”の主要施策として新興地域戦略の強化を掲げており、大きく成長する東南アジアでの事業を積極的に推進していきます。

以 上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株) 広報・IR 室長 上田 敏裕
(担当：杉山 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

<ご参考>

■ P M P C 社概要

1. 社 名 フーミー・プラスチック・アンド・ケミカルズ社
(Phu My Plastics & Chemicals Co., Ltd.)
2. 本社工場所在地 ベトナム、バリアーブンタウ省
3. 資 本 金 35百万USドル
4. 持分比率 **【現状】**
ペトロナス・ケミカルズ・グループ社 93%
現地パートナー (Vung Tau Shipyard Corporation) 7%
【当社持分取得後】
AGC 78%、三菱商事 15%、
現地パートナー (Vung Tau Shipyard Corporation) 7%
※当社持分取得：2014年第2四半期(4月～6月) 予定
5. 設 立 1995年
6. 事業内容 塩ビ樹脂 (PVC) の製造・販売
7. 設備能力 PVC10万トン/年

【P M P C 社の外観写真】



■ 東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業の展開状況（PMP C社買収後）



アサヒマス・ケミカル社（ASC社）

苛性ソーダ	50万トン/年	（2015年末までに70万トンに増強）
塩ビモノマー（VCM）	40万トン/年	（ " 80万トンに増強）
塩ビ樹脂（PVC）	30万トン/年	（ " 55万トンに増強）

※インドネシア増強完了後の東南アジアにおける生産能力：

～2015年末予定～

苛性ソーダ	105万トン/年
VCM	80万トン/年
PVC	65万トン/年